

2024年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	言語コミュニケーション文化研究科・教授
	氏名	于康
海外客員 教員	所属・職	中国・浙江師範大学・准教授
	氏名	金稀玉
招聘目的	1. 授業担当及び研究 2. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2024年 9 月 20 日 ~ 2025 年 1 月 19 日	
成果報告 以下の内容を日本語で記載して下さい。	<p>1. 授業担当及び研究</p> <p>日本語教育トピックス（大学院言語コミュニケーション文化研究科前期）</p> <p>(1) 授業科目名 本講義は中国の日本語教育の現状を踏まえつつ、日本語教育の現場で生じた諸問題及び解決法を中心に、中国における日本語教育の諸課題を明らかにし、中国語母語話者日本語学習者を対象とする日本語教育のストラテジーを考えることを目的とした。本講義を通して受講者は、中国での日本語教育と日本での日本語教育の違いを理解し、日本語教育に何が 필요한のかを理解することができた。</p> <p>(2) 授業担当の成果</p> <p>(3) 研究の内容</p> <p>(4) 研究の成果</p> <p>2. 共同研究</p> <p>(1) 共同研究の内容</p> <p>(2) 共同研究の成果 ことばと文化（大学院言語コミュニケーション文化研究科前期）</p> <p>3. 特別枠</p> <p>(1) 活動内容 対照言語学・類型論の視点から、そして外国人日本語学習者・研究者という立場を生かして、皆さんと一緒に「外」から日本語のことばと文化の関係について考え、理解を深めた。</p> <p>(2) 成果</p> <p>于康研究室が構築した『YUKタグ付き中国語母語話者日本語学習者作文コーパス』Ver. 14から日本語の動詞に関する誤用データを抽出し、対照言語学的研究という立場から、動詞と名詞との共起メカニズムにおける日本語と中国語の異同を明らかにし、日本語動詞の誤用のメカニズムを究明する研究を行った。研究の結果は共同執筆の『日本語の動詞の誤用研究 下』掲載される予定である。</p>	

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

*本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます